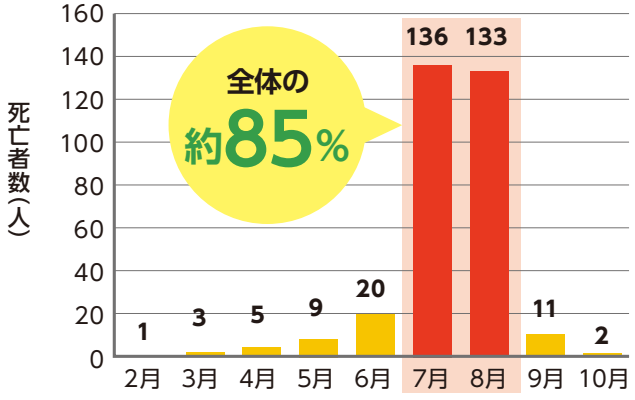
7月から9月は

夏の熱中症等 声かけ期間です！

農作業中の**熱中症等による死亡者が急増**しています！
このうち、**約85%が7～8月に発生**しており、非常に熱中症リスクが高くなっています。
熱中症事故は、**周りの人がお互いに気を配り、声をかけ合う**ことで、防げる可能性があります！

農作業中の熱中症による月別の死亡事故件数
（平成27年～令和6年の累計）



出典：農作業死亡事故調査（農林水産省）

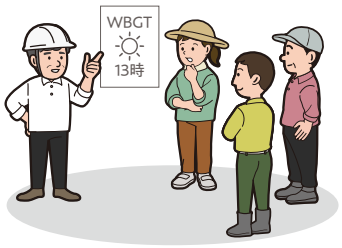
声かけ活動のポイント

家族で

作業前後だけでなく、作業中もこまめなコミュニケーションを

- □「水分、持った？」
- □「体調が悪くなったら、すぐに連絡して」

職場で



その日の体調や暑さに応じて柔軟な声かけを

- □「顔色わるいよ、休憩しよう」
- □「WBGT値が高いから、昼は作業を中断しよう」

地域全体で

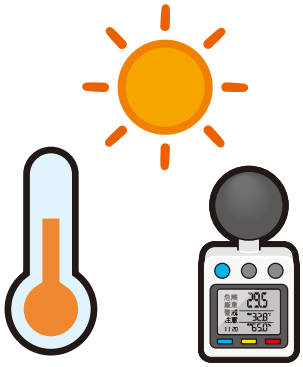
顔を合わせたら、まず一声声かけを

- □「今日は熱中症警戒アラートが出てるよ」
- □「夏は疲れやすいから、高い所も気をつけて」

キャッチフレーズは

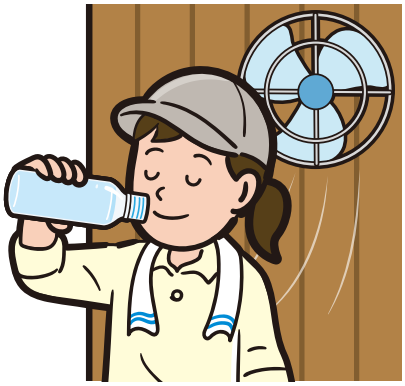
「いのちをうばう、夏のひとり作業」

熱中症対策の3つのポイント



温度やWBGT値を見て作業を考えよう

- 暑さに応じて、作業内容を調整
- 重い作業は、朝夕の時間帯にずらす、または休憩や給水の回数を増やす



こまめに休憩を取ろう

- 20分おきを目安に休憩
- 休憩時には水分・塩分補給を（コーヒー・緑茶はさけ、水・スポーツ飲料など）
- 日陰や冷房のある場所で体を冷やす

もしもの時の応急処置

- 異常を感じたらすぐ作業を中断し、涼しい場所で衣服を緩めて身体を冷やす
- 意識がもうろうとしている・返答がおかしい場合は、直ちに119（または#7119）を

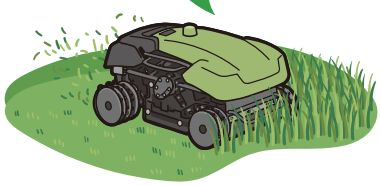
**農業は1人作業が多く、
熱中症になった際に自分では症状を自覚しにくいことから、
熱中症が重篤化しやすい傾向にあります。
また、高温の日は疲れ等により、
高所から転落する等の事故が起きやすいので注意が必要です。**

どうしても、一人作業を避けられない場合は…

携帯で家族等と30分おきに連絡を取り合う

危険な状態をアラートで伝えるウェアラブル端末を着用する

暑さ対策にはスマート農業技術や農業支援サービス事業者の活用も有効です！



**一人ひとりの「大丈夫？」が、命を守ります。
この夏は熱中症による死亡者0を目指しましょう！**

農林水産省補助事業（農作業安全総合対策推進）にて作成
制作事務：一般社団法人日本農業機械化協会

その他熱中症対策は農水省HP